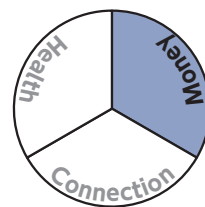
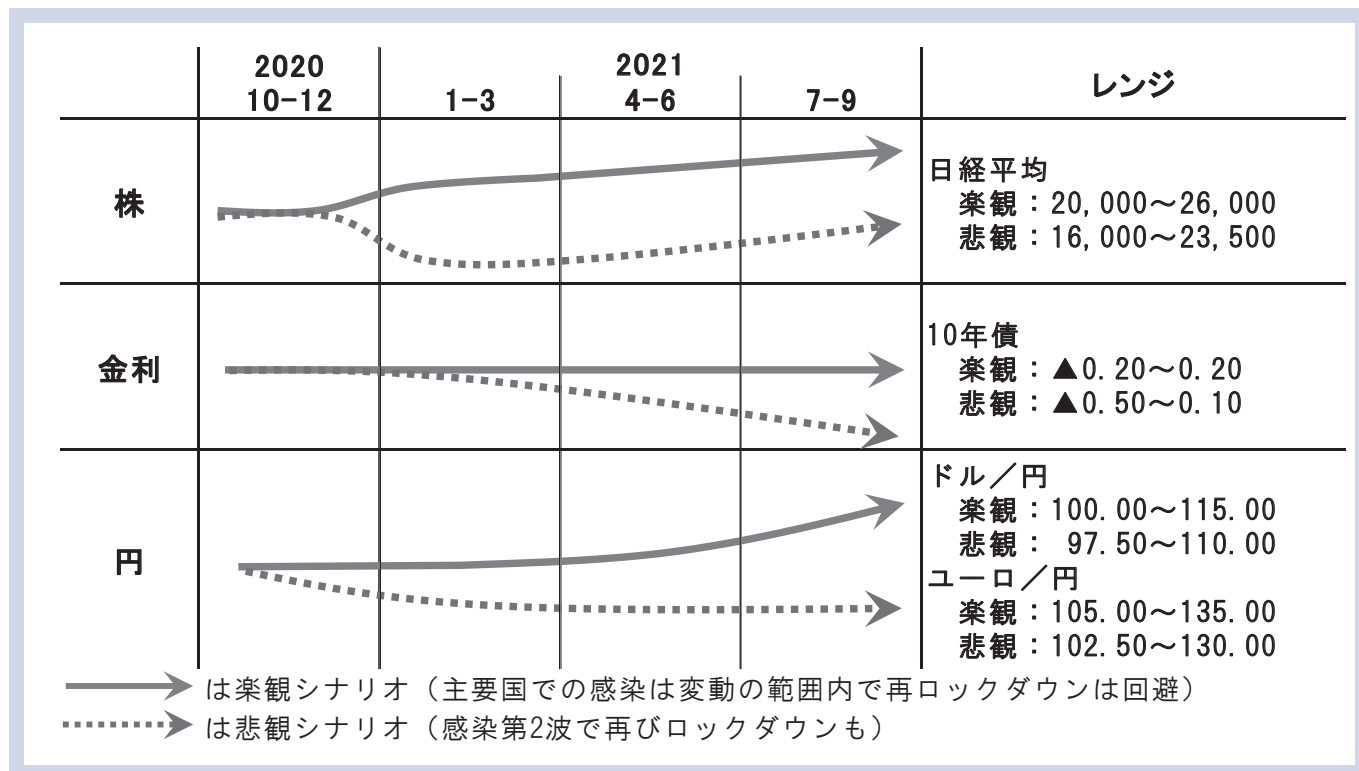


向こう1年間の市場予想 (10月7日時点)



向こう1年間の市場予想イメージとレンジ



予想コメント

	コメント
株式	国内株式は、新型コロナウイルスの感染動向をにらみながらも、景気底打ちと持ち直しへの動きが続き、ワクチン開発・普及後は景気回復にも弾みがつくとの期待に支えられ、底堅い展開が続くものと見込まれる。主要国中央銀行による大規模な量的緩和策の継続も、株式市場への資金流入に繋がりがやすい要素。菅新政権のデジタル推進・行政改革は潜在成長率の押し上げに繋がるとの期待もプラス要因。
金利	日本経済は、緊急事態宣言解除を機に底打ちしたと判断されるが、感染沈静化に時間がかかるなか、回復も緩やかで、物価も下落に転じている。日銀は現状の超緩和的な政策を継続する見込みで、金利は低水準での推移が続こう。
円	為替市場では、主要国における経済活動が徐々に再開されはじめたことで、リスク回避によるドル高圧力は後退した。もっとも、大きなダメージを負った景気の本格回復には時間がかかる見込みで、世界的な超緩和政策は当面継続すると予想される。ドル円相場は横ばい圏での推移が続こう。

(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。レンジについては、前月号から変更した値に下線を引いております。(上方修正:↑ 下方修正:↓)